

粕谷和夫の観察日記より。柿が食べごろになってきました。この写真は八王子市内の空き家の庭の一コマです。最近各地でこのような光景が目立ちます。これが里山であれば熊を呼んでしまいますね。メジロやツグミが来てくれて食べて欲しいです。「柿の実や朝から鳥の喧騒が 福田みさを」

紅葉台



新聞

第209号

2025年

11月22日

発行人：関谷 孝

チョウが教えてくれる自然のつながり

植木 裕子

私は、現在玉川上水で地域の人たちと「自生野草を守り育てるボランティア活動」をしています。3年前からチョウに興味のある人たちと玉川上水の一角にバタフライガーデンを作っています。植物の知識は多少あってもチョウの事は知らない人が多く、ずっと手探り状態でした。そんな中、小平市公民館主催の地域支援講座「チョウが教えてくれる自然のつながり」があるのを知り、仲間の人と受講することにしました。講師は日本チョウ類保全協会の中村康弘さんです。講座は全4回。1回目は、10月16日で「チョウ全般について」の話でした。

特に印象に残ったのはよく耳にする食草(幼虫が食べる植物)・食樹についてです。チョウによって食べる植物が決まっているのかずっと不思議だったからです。玉川上水を歩いている時、キアゲハの幼虫がものすごい勢いで、アシタバの葉を食べているのを見たことがあります。いろんなチョウが同じ植物を食べたら食いつくされて、その植物は絶滅してしまうのではないかと心配になるほどでした。だから、チョウによって食べる植物を変えています。どうやって幼虫が食べる草を決めているのか不思議でした。

お話を聞いてわかったのは、植物もチョウも自分たちの子孫を残すためにものすごい努力をしていることです。植物はいろんな成分があり、なかには、毒を作っている植物もたくさんあります。それに対抗するように、チョウも自分の体の中に解毒できるものを作っていきますが、すべての植物に対応できないので、それぞれのチョウがある植物に特化していくようになり、それで食草が決まってしまうと話でした。

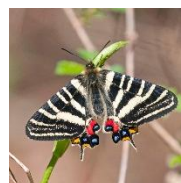
いつだったか、ヒヨドリがチョウを捕まえてもジャコウアゲハとわかると放してしまうと本で読んだことがあります。ジャコウアゲハはウマノスズクサの毒を解毒して食草にしています。そのことで自分の身を守っていたのです。そしてヒヨドリも経験からでしょうか、ジャコウアゲハが毒を持っているのがわかっていたということでした。



アサギマダラも毒チョウとして知られています。幼虫の時食草から毒を取り入れ毒チョウになったとのこと。アサギマダラが持つ毒は、吐き気を催させたり、まづいと感じさせたりする効果があります。

ですから、食べたことのある生物は二度とアサギマダラを襲わないと言われています。でも鳥やヤドカリなどに食べられているのを見たことがあると話す人もいて、その毒の効果はどうなのでしょうかといいことでした。チョウ道(チョウには決まって飛ぶ道がある)について

の話も興味深いものがありました。チョウのオスは交尾の相手を見つけること。メスは産卵することが短い一生の中で最も大切なことです。アゲハチョウ科のいくつかのチョウは、同じコースをぐるぐる回ってメスを見つけるので、それをチョウ道と呼んでいるようです。オスのチョウは効率よく相手を捜そうとするので、モンシロチョウのオスは羽化してきたメスを捜し、**ギフチョウ**のオスは山の下のカンアオイで羽化し、山に登ってきたメスを山の上でじっと待っているとの事でした。内容が盛りだくさんで時間が足りず、チョウ道については、駆け足の説明になってしまいました。それでも初めて知ることがたくさんあり、目から鱗の楽しい講座でした。



幼虫は、エサになる食草・食樹を。成虫は、蜜源・樹液が必要で、チョウは植物に大きく依存しています。私たちがやっている自生野草を守り育てるボランティアはチョウにとっても大切なことだと実感しました。

粕谷和夫の観察日記



勝沼ぶどう郷駅から葡萄園内のフットパスを歩いていると青空にトビがゆったり旋回し、モズの高鳴きがあちこちから聞こえてきました。さらに進むと**ジョウビタキのオス**が杭にとまり、何か餌を狙っていました。最近、ジョウビタキは渡りをしないで夏中も留まっている個体が出てきているので、この個体は「渡り鳥として長い旅から帰ってきたのか」と尋ねたくなりました。



勝沼ぶどう郷駅から葡萄園に中のフットパスを歩きました。ブドウはほぼ収穫が終わっていましたが、甲州ブドウは少し残っていました(写真左)。道路脇には野生の**アオツズラフジ**の房がありました(写真右)。栽培種と野生種の対比です。アオツズラフジは食べられませんが、熟すると表面はやや粉白を帯び、つぶすと果実の中に直径4mmほどの核(種子)が1個入り、形は扁平で円くカタツムリの殻のような形をしています。

拓大散歩会 木曜 10 時北門集合

拓大散歩も早1年を迎えました。いつも天気に恵まれ皆さん元気に歩くことを楽しんでいます。秋は紅葉がとても綺麗です。(写真) 遠くに行かなくても近くにこんないいところがありますよ! 馬と仲良く、学生さんとも話せて、学食で楽しいランチタイム。植物や生き物にも関心を深めキャンパスの探検もしています。いつでももあなたでも歓迎!一緒に散歩しませんか。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。